

Nihon Univ. Equestrian Team

Vol.2 2006. Winter



巻頭の挨拶

諸岡 監督
kazuo morooka

全日本学生三大馬術大会が終わりました。本格的に指揮を執った最初の全日本学生、勝負は団体3位という結果でした。関東を終え、馬の調子も最悪だと思っていた時期は乗り越えられたという感があった矢先に、またも、よもやの不幸、怪我が選手と馬を襲い、なかでも馬場馬の故障は大きく、まさに慢心創意という状態で全日本学生を迎えました。まず、2回走行は1日目、川口が減点0で帰ってくるも、続く選手等が波に乗れず、2日目は開き直り、気持ちを入れ替え、初日より減点を減らして帰ってきました。結果は4落下差、の4位。2回走行目の減点が初日もくれば勝ち負けができたはず。続く馬場もヴァリシモは一杯の調整をして望んだが、出番直前で破行が再発。大友は棄権を余儀なくされてしまった。チーム戦

はそれでも奮起の2位、個人再審に福永、鶴林の2名進出と、結果こそされど、直前の強化合宿で選手の意識は強く改革され、春からの成長を思わせた。総合においては中島、為貝と経験豊富な二人が引っ張るも最終日の耐久、野外でのミスが大きく響く、関東と同じく身内で崩れてしまった。勝てる要素は充分あった。長い週間、学生の為に、細野コーチを始め、馬事公苑に駆けつけてくれたたくさんOBの方々には感謝を申し上げる次第です。

全日本のタイトルから7年も遠ざかると、学生の中にいつの間にか「こんなもんだらう」という雰囲気生まれ、どうしても這い上がるという大切な気迫が不足してくる。自身の経験からだが、出した結論は「淡泊さ」の追放である。来期の飛躍の為に何が必要か、まずは、勝たなくてはならないという「命題」を与えたい。勝つてやるのではない、競技の前だけ盛り上がり、舞い上がるのではなく、いつでも冷静に秘めた闘志、これを学生に植え付けたい。そして何より大事なことは、色々他大学の事も気にはなるのもわかるが、我々の目標へと到達できればどこにも負けないということ。結果は後からついてくるものだ。飛ぶ、魅せる、何を指すのか。「ゴール」が前より少し見えてきた。



中島 主将
yutsuke nakajima

新主将の中島悠介です。昨年の全日本学生は多大なご声援にもかかわらず、総合団体3位という結果で終わってしまい申し訳ありませんでした。また、六会で行われた納会に多数、御出席していただき誠にありがとうございました。

私は一年生のときからレギュラーとして試合に出させていただいているのですが、今年の日本大学は諸岡監督を始めとするコーチ陣、馬、部員どれをとっても過去三年間で最高の状態だと自負しています。

まずは、春の東都学生22連覇はもちろんの事、全種目完全優勝を目指します。そして、学生として最後の年、秋に行われます全日本学生は三種目とも個人、団体優勝を目指します。この先も変わらぬご支援、ご声援の程よろしく申し上げます。

馬術部

今年度、女子主将をやります横山あかねといいます。私はこの3年間、関東学生、全日本学生と選手になることができず、サポートする側にまわってきましたが、今年はいままで学んできたことを活かし、馬場馬術の選手として出場したいと思います。そして出場だけでなく、団体優勝のタイトルに貢献できるよう、精一杯努力していこうと思っています。

また、最上級生として責任ある立場になり、監督、コーチ、OBの方々による支えが、これほどまでに大きく、心強いことだとわかりました。応援してくださっている方々の期待に応え、自分たちの光を、部員一同、同じ気持ちで光り輝かせ、一人一人が良いライバルで良い同期、先輩、後輩になり活気あふれる力強い部活にできるよう部活を盛り上げていきたいと思っています。今年も色々とお世話になりますが、応援の程よろしくお願いたします。



横山 女子主将
akane yokoyama
あかね

俺達の時代

To our times

今年の目標は、全日本学生での団体優勝を成し遂げる事です。昨年の関東学生三大会の二回走行に桜嵐号で出場する予定でしたが、輸送の前日に突然体調をくずし、この世を去りました。悲しみと悔しさが今でも僕の心の中に残っています。今年は、桜春号という新しいパートナーと共に、昨年の思いをこめて、全日本学生で優勝できるように監督やコーチの指導の元、練習に全力投球したいと思っています。

そして、たくさんの人に支えられているという気持ちを忘れずに毎日を充実したものにしていきたいと思います。



岩崎 浩明
hiroaki iwazaki

一年の頃から、3年間二回走行をやってきましたが、今年のメンバーは例年にも増して団結力があって今までで最高の成績が出せるであろうと強く期待しています。入学時に連れてきたガスワーク号とコンビを組み、1年生の頃から先輩方と障害チームに混ぜていただき今まで気づかなかった自分に足りないたくさんのものを団体戦によって気づかせていただきました。個人では味わえない学生ならではの緊張感に今でも苦しめられますが、自分も今年ついに4年生を迎え、チームを引っ張っていく側になりました。最上級生というこの責任感と緊張感を力に変え、今年こそ最高の結果を残し後輩達に最高のパトタッチができるよう頑張りたいと思います。



高田 康司
konji takada

All Japan Students 優勝

学生 Championship

日本大学に入学して早くも3年が過ぎ、4年生という立場になりました。振り返ると、一年生の時にソネット号で関東学生の二回走行に出場し、がむしゃらな騎乗をしてしまい6落下とひどい減点数で団体に貢献することができませんでした。2年生の時にも、同じように桜恒号で全日本学生の二回走行に出場するが、この時も、団体の枠に入る事ができず、とても悔しさの残る試合をしてしまいました。

今年の全日本学生は大学生活最後の試合なので悔いの残らないよう結果を出したいです。そのためにも、技術はもちろんのこと、精神面も鍛え、馬たちを大事にし、部員一丸となって団体優勝できるように普段の練習に励んでいきたいです。



為貝 幸央
yukio tamagai



櫻木 俊
shun sakuragi

今年で3度目の全日本学生を迎えますが、今年こそは団体優勝したいと思っています。今年の障害チームは非常に団結力があってみんなの気持ちが一つになっていると思います。全日本学生まで9ヶ月くらいありますが、一日、一日の練習を大切に、日々レベルアップしていきたいです。そして、みんなの気持ちを背負い、素晴らしい走行をして、チームに貢献できたらと思います。

今年の二走行での目標は、昨年バービーガールで惜しくも一落下という結果に終わってしまったので、減点0でかえってくることです。あのくやしさは忘れられませんでした。ジャンプオフで戦って見事優勝をしたいです。そのためにも今年は去年の走行を振り返り、何が悪くて一落下してしまったのか、またどのようにすればよりよい結果を残す事ができるのかを研究し、日々練習をして、人馬共に成長していきたいです。去年の試合を振り返ってみると、大切だと感じたものがあります。勝つために大事なことは人馬とのコミュニケーションとそれを支えてくれる仲間の協力です。一人の力では勝つ事ができないのが乗馬というスポーツです。それなので私は去年良い成績を残せたのだと思います。今年はさらにコミュニケーションを深め、仲間と共に成長していきたいです。



川口 大輔
daisuke kawaguchi



森田 祥平
Kohei Takada

昨年は、東都学生、関東学生、全日本学生と大学の中の三つの大きな試合に出させていただきます。結果としてはあまり成績が良くなく、団体にも絡めませんでした。

私が騎乗した桜藤号もあまり足が丈夫な馬でなく、全日本学生の3週間前に足を痛めてしまい、調整試合もせず、いきなり本番を迎えてしまいましたが無事帰ってこれました。本当に桜藤号には一年間、大変お世話になりました。そして、今年は東都、関東、全日本学生に出場して、昨年の目標はここで終わってしまいましたが、今年には出場するだけでなく、満点で帰り上位入賞また団体に絡み、お世話になっている人たちに納得してもらえよう頑張っていきたいです。

最後に一年目からレギュラーになっている同期の「櫻木 俊」には負けたくないで今年こそ勝ちます。

A compete for a right to go for a match begins now...
試合出場権利
争い勃発



飯島 啓介
Keisuke Iijima

今年が一番の目標は秋に行われる全日本学生馬術大会の二走行に出場することです。今の自分とはとても全日本学生に出場するほどの実力はなく、もっと馬を乗り始める基本的なことから勉強するべきだと思っています。そしてたくさんの馬に乗り、コーチに教わった事を良く理解して、日々練習していきたいと思います。全日本学生の二走行出場を目標にするからには、同期はもちろん先輩にも絶対に負けられないように頑張ります。

Guide of facilities in mutuai 施設案内

昨年、たくさんのOBの方々のご協力をいただき、馬場の奥側に仮設厩舎を設置することができました。一馬房【3.6×3.6】近年、体の大きい馬が増えたこともあり、六会の少し小さめのサイズ厩舎中で、馬が怪我をするという場面が多くなっていた為、広い馬房がどうしても必要になっていました。前にパドックを設けて馬達が日光浴をできるようになっています。桜蹄会の皆様ありがとうございました。大切に使用させていただきます。



Another HERO アナザーヒーロー

Part.2
阿久澤 洋貴

自分は獣医学科三年の阿久沢洋貴です。一般生で入り、馬乗りが上手くない自分が部活に貢献できること。それはいつも自分たちのために必死になり頑張ってくれる馬をケアすることだと考えます。大きなひとつの故障は、無数の小さな要因が重なっておこるといわれています。



大きな故障が起こる前に、その小さな要因に気づき事前に防ぐ事ができるよう努力していきます。最後の全日本学生はみんなで笑えるように……

部員紹介 & 言(今年の抱負)



Schedule ~Winter&Spring Season 2006~

3月

- 3日～ 5日 関東新人・OB戦 東京競馬場
- 11日～ 12日 三獣医馬術大会 東京競馬場
- 16日 クロストライアル 馬事公苑
- 25日～ 26日 トキノアラシ号記念馬術大会 馬事公苑

4月

- 3月31日～ 2日 日立明馬術大会 馬事公苑
- 14日～ 16日 東都学生馬術大会 馬事公苑
- 20日 クロストライアル 馬事公苑

4月

- 22日～ 23日 ユドラ号記念馬術大会 馬術大会

5月

- 27日～ 28日 全日本ジュニア総合馬術大会 馬事公苑

6月

- 3日～ 4日 関東学生馬術争覇戦 馬事公苑
- 22日～ 25日 関東学生三大大会 馬事公苑

合宿所・馬場

〒252-0813 神奈川県藤沢市亀井野840
e-mail : nuet@msj.biglobe.ne.jp

TEL:0466-81-0288 FAX:0466-81-8885
HP : http://www.nu-equestrian.com/

皆様応援よろしくお願ひします。